

《参加者募集》

2016年2月～2016年11月開催(全10回)

第5期

社内広報担当者 交流会 議

◆開催主旨

企業におけるグローバル化の進展や雇用関係の変化等によって、今、社内広報の重要性がますます高まりつつあります。社内広報の代表的なツールである社内報も、印刷媒体全盛の時代からネットの時代へと変わり、その制作手法や考え方も大きく変わってきています。どうすれば効果的な社内報をつくり、目指す社内広報を実現できるのでしょうか。

本交流会議では様々な分野で活躍する実務家などから具体的な実践ノウハウを学び、自社の現状と照らし合わせながら意見交換を行ないます。

また、設定した研究テーマについて情報交換・討議・研究し、研究した成果を共有化し、本音の情報・ノウハウの交換、そして総括討議を行ないます。多彩な講師陣との交流や異業種のメンバーの方々とのフランクな議論は、新たな発想や人脈作りのスキルという点でも今後の大きな財産になります。

開催にあたり上記の活動主旨にご賛同いただける意欲的かつ熱意あるメンバーの参加をご期待申し上げる次第です。

開催日	テーマ・講師
2月26日(金)	「日本アイ・ビー・エムの 社内広報の取り組み」 【ゲスト】日本アイ・ビー・エム
3月25日(金)	「セブン & アイ HLDGS の グループ報を通しての一体感の醸成」 【ゲスト】セブン & アイ HLDGS
4月22日(金)	「東レの社内広報の取り組み」 【ゲスト】東レ

◆開催要領

《期間》2016年2月～2016年11月(全10回) 《日時》原則として毎月1回 14:00～17:00

14:00～15:30

1. ゲスト講演

★ゲスト講演またはメンバー発表
様々な分野で活躍する実務家、研究者、コンサルタント学者などを幅広く招聘し知見を広めます。

15:40～17:00

2. グループ討議

★グループに分かれて、各社の情報交換を行います。

(敬称略)

会場	企業研究会セミナールーム	
参加対象	広報部、総務部、企画部門などの方々	
コーディネーター	元パナソニック グローバルコミュニケーション推進総括部長 【略歴】 1977年松下電器産業入社。国内家電営業、営業本部での新規市場開発に従事。1997年広報本部広報編集部に於て松下グループ社内報季刊『松風』編集長。2002年社内報月刊『PaNa』創刊。初代編集長。グローバルコミュニケーション推進総括部長を経て2012年定年退職。現在歴史街道推進協議会事務局次長。日本経団連社内広報センター代表幹事(2007年～2012年)、日本広報学会常任理事(2009年～2013年)。 *『松風』、そして『PaNa』は日本経団連社内広報センターの社内報審査で1969年の初応募から2012年まで連続44年間「日本経団連推薦社内報総合賞」に選定され表彰を受ける。	松枝 健夫
幹事	アステラス製薬 研究本部研究統括部企画管理グループ課長	芦沢 祐子
	リコー コーポレート統括本部コーポレートコミュニケーションセンター広報室	梅田 尚幸
	リクルートホールディングス 中長期戦略室グループ社内広報部	後藤 朋美

◆全体討議又はグループ討議での例示テーマ

1. 社内広報の基礎

- (1)社内広報の役割
- (2)企業理念をいかに浸透させるか
- (3)ビジョンの実践をいかに促進するか
 - ・どんな企画で
 - ・どんな媒体で
- (4)社内広報の定義、社内広報の具体的活動
社内報の発行目的と編集方針
- (5)企画・編集の流れ、情報収集の仕組み
- (6)取材力・文章力・レイアウト・写真
- (7)最適な媒体フォーメーション 電子媒体と印刷媒体

2. 企画編集力

- (1)企画会議について ・やり方 ・悩み
- (2)企画編集力を高めるには
 - ・情報の付加価値創造について
 - ・デザインの重要性
 - ・企画を通すには
- (3)行動を促す特集企画、常設企画
 - ・企業風土を変える特集
 - ・共感を呼ぶ企画
 - ・役立つ企画
 - ・気付きを促す企画
 - ・警鐘を鳴らす企画
 - ・家族にも感動を与える企画

3. WEB社内広報

- (1)WEB社内広報の特長(迅速性、検索性、関連性)
- (2)イントラの構築、機能
- (3)情報収集、発信計画、発信基準、発信頻度、編集体制
- (4)媒体の特性と有効コンテンツ
- (5)最適な媒体のフォーメーション 電子媒体と印刷媒体

(6)WEB社内報のレイアウトや注意点

(7)非正規社員へのWeb対応

(8)社内SNS

4. グローバル&グループ社内広報

- (1)グループ報とは何か
 - ・目的とコンテンツ
 - ・グループ報/分社報/事業場報との差異
- (2)ブランディングと社内報
- (3)グローバル&グループ報の役割
- (4)グローバル&グループ報で共有すべき情報
- (5)多言語対応と配布・配信システム、編集体制
- (6)分社関係会社報とグローバル&グループ報の関係

5. 社内広報担当者の育成と効果測定

- (1)社内広報担当者の育成
広報における育成ローテーション
- (2)編集長の役割、アウトソーシングの留意点
- (3)社内広報の効果測定と活かし方

6. 社内広報におけるクライシス・マネジメント(危機管理)

- (1)各社社内報の震災対応発信
- (2)危機とは何か
- (3)危機の分類 自社にとって適切な分類
- (4)危機を乗り越えるために社内に徹底すべきこと
- (5)非常時こそ企業文化が問われる
- (6)禍を転じて福となす
- (7)個人情報について
- (8)ソーシャルメディアと情報漏洩リスク
- (9)プライバシーポリシーや
情報セキュリティポリシーなどの基本方針

◆第4期活動経過(2015年2月～11月)

(敬称略)

◆2 / 28 (金)

「三菱重工のグループ内広報の取り組み」
グループ報「Global Arch」について～
三菱重工業 グループ戦略推進室広報部ブランド戦略グループ担当課長 高橋 弘行

◆3 / 27 (金)

「日立製作所の社内広報の取り組み」
日立製作所 ブランド・コミュニケーション本部広報・IR 部部長代理 丸尾 陽司

◆4 / 24 (金)

「ローソンの社内広報の取り組み」
ローソン ヒューマンリソースステーション元気推進 児島 聡

◆5 / 23 (金)・24 (土) 合宿研究会(琵琶湖)

◎SG ホールディングスの保養施設「レークさがわ」で宿泊と研修
◎佐川美術館見学
『佐川急便の社内報「HIKYAKU」と女性従業員向け冊子
「Waku-Waku」の取り組み』
SG ホールディングス 社長室広報・CSR ユニットマネジャー 兼
佐川急便 広報部広報課課長 山口 真富貴

◎メンバー交流シートを基にグループ討議

◎ビジネスパーソン基礎力養成「日本文化体感プログラム」
国宝彦根城と城下町を訪ねる
～日本らしさを学ぶことは我が国広報パーソンにとって重要!!～
歴史街道推進協議会 事務局次長・事業企画推進部部長 松枝 健夫

◆6 / 12 (金)

「サカタのタネの社内広報の取り組み」
サカタのタネ 広報宣伝部長 清水 俊英 氏

◆7 / 24 (金)

「鹿島建設のインナー広報」～広報誌作成を中心に～
鹿島建設 広報室次長 財部 浩司

◆8 / 28 (金)

「アサヒグループの社内広報の取り組み」
アサヒグループホールディングス 広報部門マネージャー 太田 毅

◆9 / 25 (金)

「ソニー生命はなぜビデオ社内報にこだわるのか」
ソニー生命保険 ライフプランナー推進部 e-TEAM 推進室長 山崎 武司

◆10 / 23 (金)

「第一三共グループの社内コミュニケーション」
第一三共 コーポレートコミュニケーション部広報グループ主査 小山内 敬

◆11 / 25 (金)

「雑誌 UOMO の作られ方とデジタルの取り組み」
集英社 元 ウオモ編集長(現 雑誌デジタル室室長) 西河 淳



▶佐川美術館

◆第1期～第4期参加企業

(敬称略 五十音順)

アイシン・エイ・ダブリュ	コクヨ	東洋ゴム工業	ファイザー
アイシン精機	国連開発計画	トクヤマ	富士電機
アヴァシス	サイバーエージェント	凸版印刷	プラネット
曙ブレーキ工業	サッポロホールディングス	豊田通商	プリヂスト
旭硝子	サントリーホールディングス	豊田中央研究所	古河電気工業
アサヒグループホールディングス	CSKサービスウェア	トヨタファイナンス	ポリプラスチックス
味の素	ジーフィット	トヨタメディアサービス	丸井グループ
アステラス製薬	JVCケンウッド	ナカシマプロペラ	丸紅
アマノ	JFRオフィスサポート	永谷園	三井化学
アルプス電気	シチズンセイミツ	ナブテスコ	三井不動産
イオン	シチズンホールディングス	西日本旅客鉄道	三井物産
岩崎電気	清水建設	日清オイリオグループ	Mizkan Holdings
岩谷産業	鈴木商館	日東電工	三菱ケミカルホールディングス
宇部興産	スズケン	日本ハム	三菱重工業
江崎グリコ	鈴与ホールディングス	日本紙パルプ商事	明治ホールディングス
NOK	スタンレー電気	日本触媒	メイテック
NTTデータ	スリーエムジャパン	日本GE	森ビル
王子ホールディングス	生活協同組合連合会コープネット事業連合	日本精機	森永製菓
大阪ガス	セブン銀行	日本電気	ヤマハ発動機
岡村製作所	千趣会	日本たばこ産業	ライオン
旺文社	ソニーLSIデザイン	日本特殊陶業	リクルートコミュニケーションズ
オムロン	ソニーフィナンシャルホールディングス	ノーリツ	リクルートホールディングス
オリエンタルランド	第一生命保険	ノバルティスファーマ	リクルートマーケティングパートナーズ
オリオン機械	ダイセル	野村総合研究所	リコー
オリンパス	武田薬品工業株	野村貿易	リンクコーポレートコミュニケーションズ
花王	竹中工務店	ハーゲンダッツジャパン	歴史街道推進協議会
加賀電子	田辺三菱製薬	バイエル薬品	ロート製薬
ガリバーインターナショナル	中国電力	博報堂	YKK
川崎重工業	DIC	阪急電鉄	ワコールホールディングス
キトー	TDモバイル	阪急阪神ホールディングス	
キリン	電源開発	バンダイ	
京セラ	デンソー	東日本電信電話	
協和発酵キリン	電通パブリックリレーションズ	日立化成	
KDDI	電力中央研究所	日立ソリューションズ	
KDDIまとめてオフィス	東芝	日立ライフ	
国分	東北電力	広島ガス	

◆年間プログラム (2016年2月～2016年11月)

第1回 例会 2/26 (金)	第2回 例会 3/25 (金)	第3回 例会 4/22 (金)	第4回 例会 5/27 (金) ・28 (土) 合宿研究会	第5回 例会 6/10 (金)
第6回 例会 7/22 (金)	第7回 例会 8/25 (金)	第8回 例会 9/23 (金)	第9回 例会 10/28 (金)	第10回 例会 11/25 (金)

◆参加要領

【年間参加の同時お申込みでお2人目から54,000円とさせていただきます】

★法人会員企業は下記当会HPでご確認戴けます。

★分割支払い、代理参加等可能です。お気軽にご相談下さい。通信費・資料代等の一切を含みます。

★合宿研究会や例会終了後の懇親パーティの特別会合は別途実費となります。

《年間参加費》正会員：**237,600**円(本体価格：220,000円)
一般：**270,000**円(本体価格：250,000円)

《一日参加費》正会員：**34,560**円(本体価格：32,000円) × 回(受講希望日)
一般：**37,800**円(本体価格：35,000円) × 回(受講希望日)

《お申込方法》◆下記申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお送り下さい。請求書をお送りいたします。

《申 込 先》一般社団法人企業研究会担当：村野 E-mail：murano@bri.or.jp
〒102-0083東京都千代田区麴町5-7-2 麴町M-SQUARE 2F
TEL：03-5215-3550 FAX：03-5215-0951～2 URL：https://www.bri.or.jp

第5期 社内広報担当者交流会議 申込書 FAX:03-5215-0951

会合の趣旨に賛同し、下記により参加を申込みます。

申込日：____年 ____月 ____日

150147		第5期 社内広報担当者交流会議 申込書	
会社名	会社住所 〒		
①氏名 (フリガナ)	TEL		
	FAX		
部課・役職	E-mail		
②氏名 (フリガナ)	TEL		
	FAX		
部課・役職	E-mail		
受講希望日	※1日単位での受講をご申し込みの方は希望日をご記入下さい。		
備考			

※申込書にご記入頂きました個人情報は、交流会議に関する確認・連絡及び弊社主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。